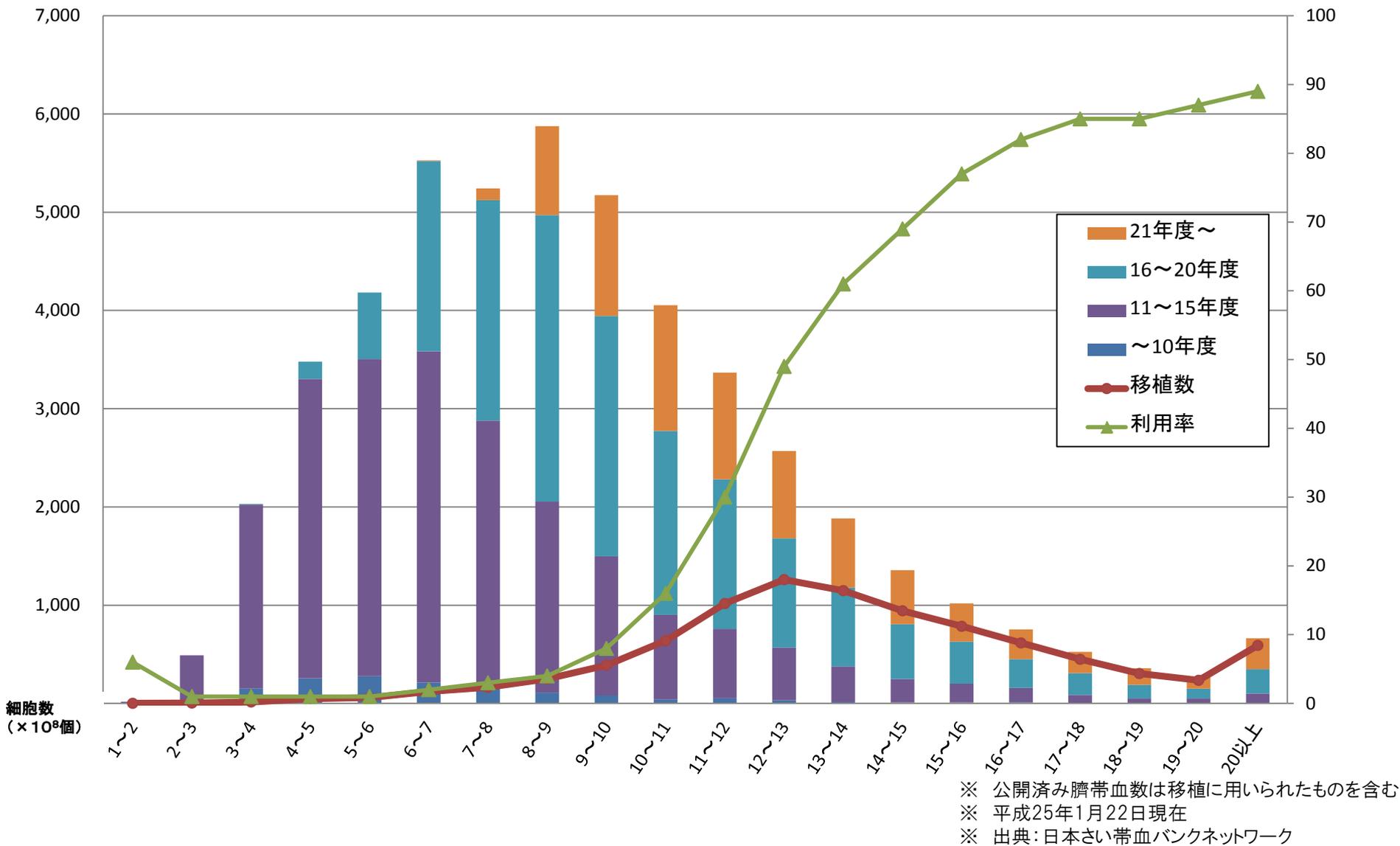


## さい帯血バンクアンケート結果について

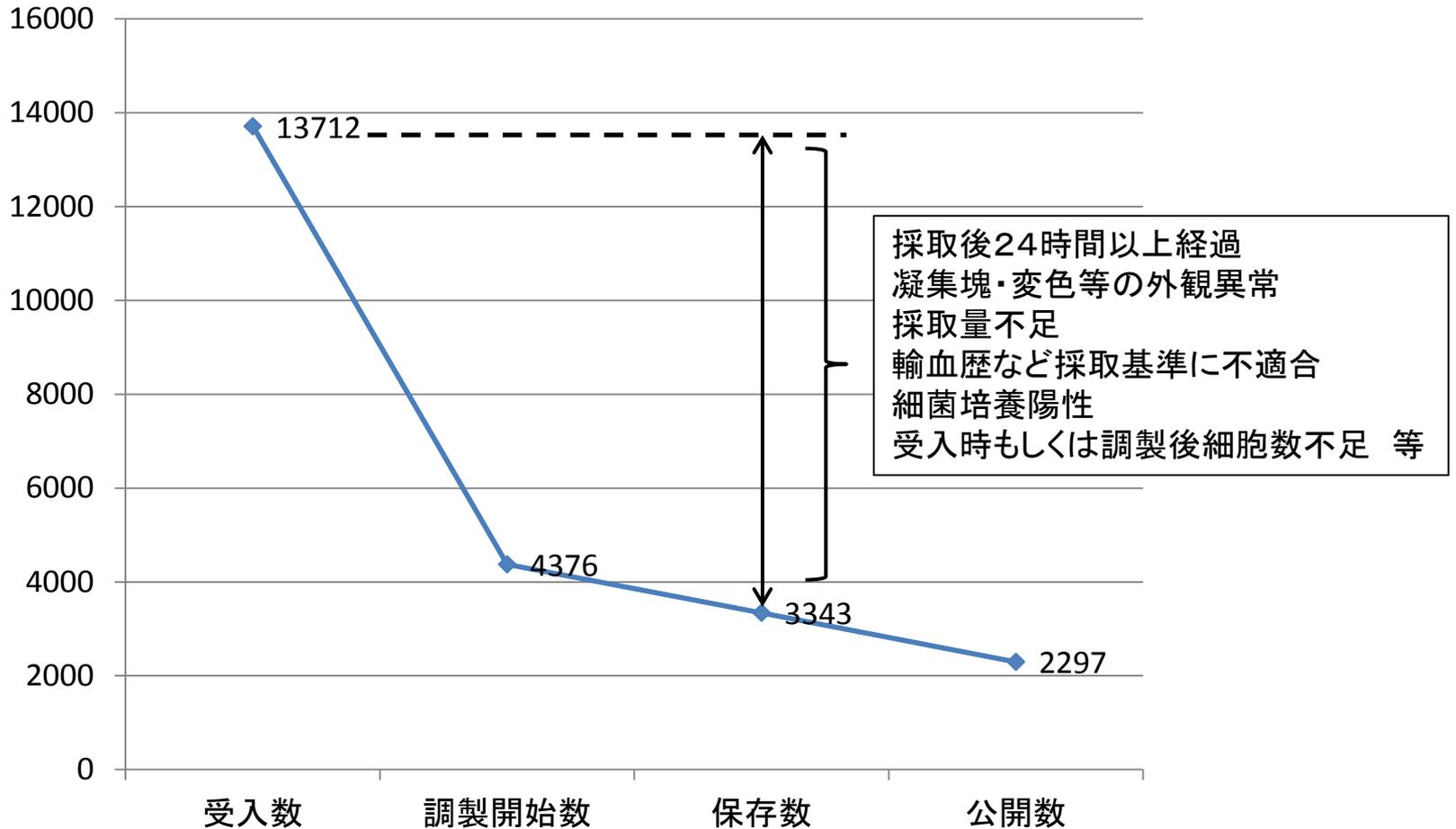
# 公開済み臍帯血の年代別総細胞分布と利用率

新しいものほど総細胞数が多い傾向がある。



# 受入から公開までの臍帯血数の推移

受け入れた臍帯血のうち、最終的に公開されるのは一部分となっている。

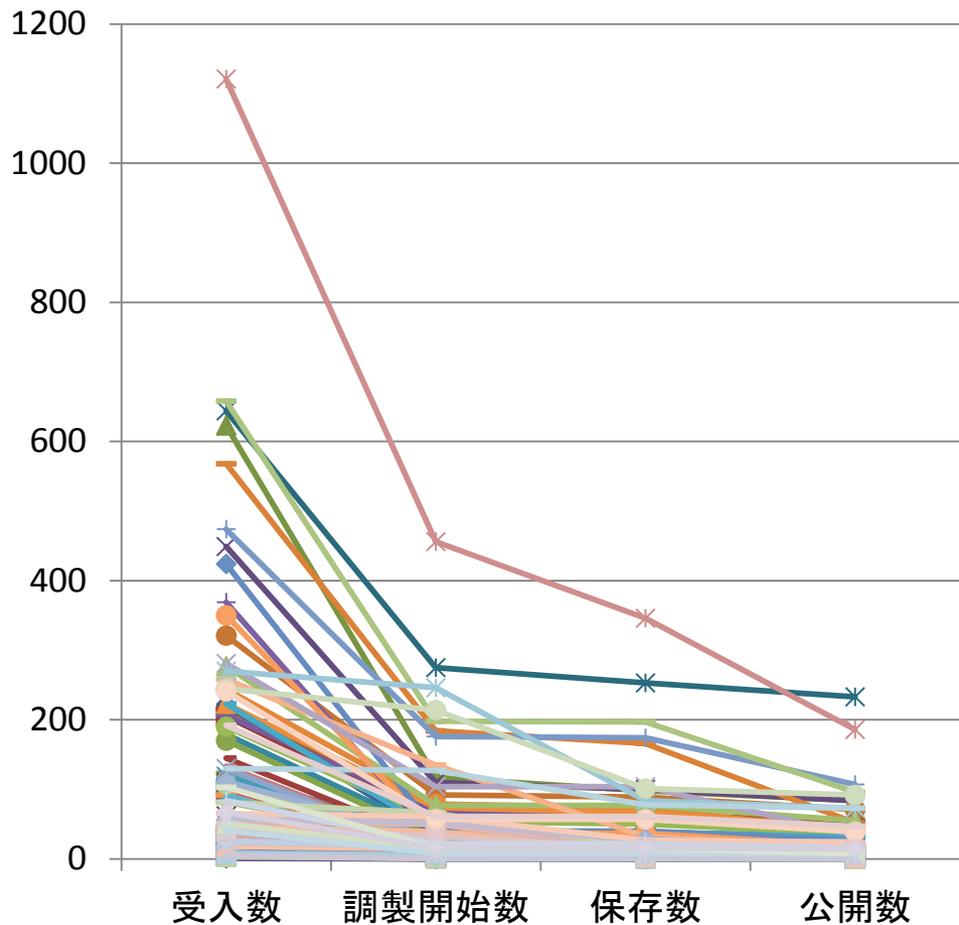


- ※ 数値は中央値
- ※ 受入数は受入処理を行ったもの
- ※ 2011年1月～12月に受入処理を行ったもの
- ※ 公開待ちの臍帯血が892個ある
- ※ 各さい帯血バンクへのアンケートより臓器移植対策室にて作成

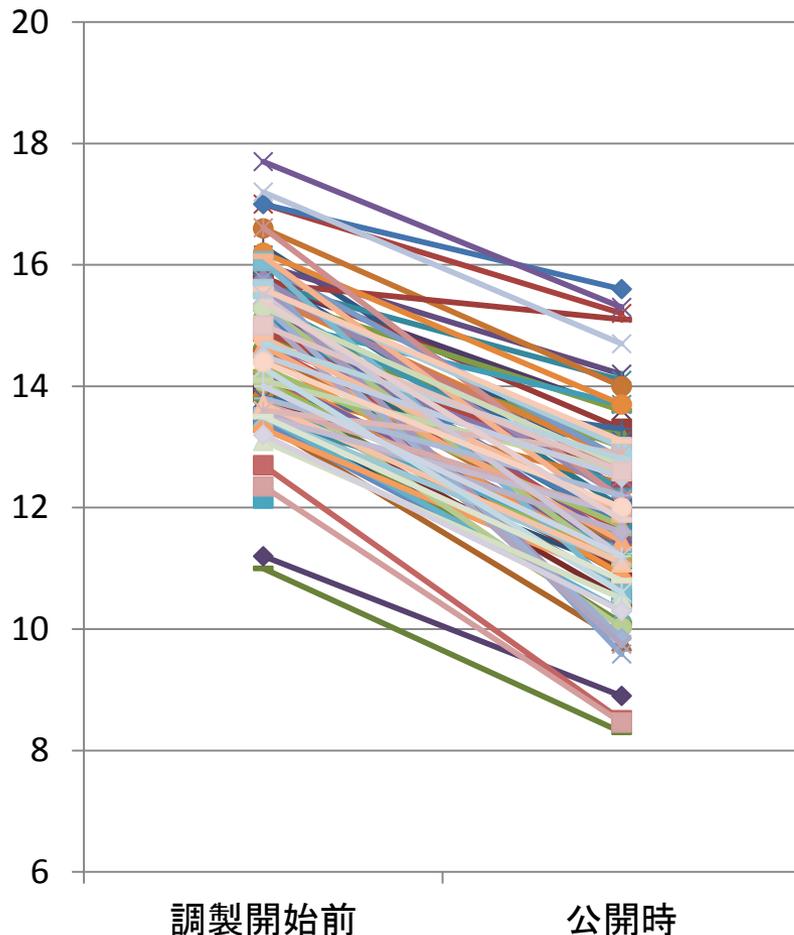
# 臍帯血採取病院別の公開率と総細胞数

採取病院間でバラツキはある程度認められる。

## (個) 受入から公開までの臍帯血数



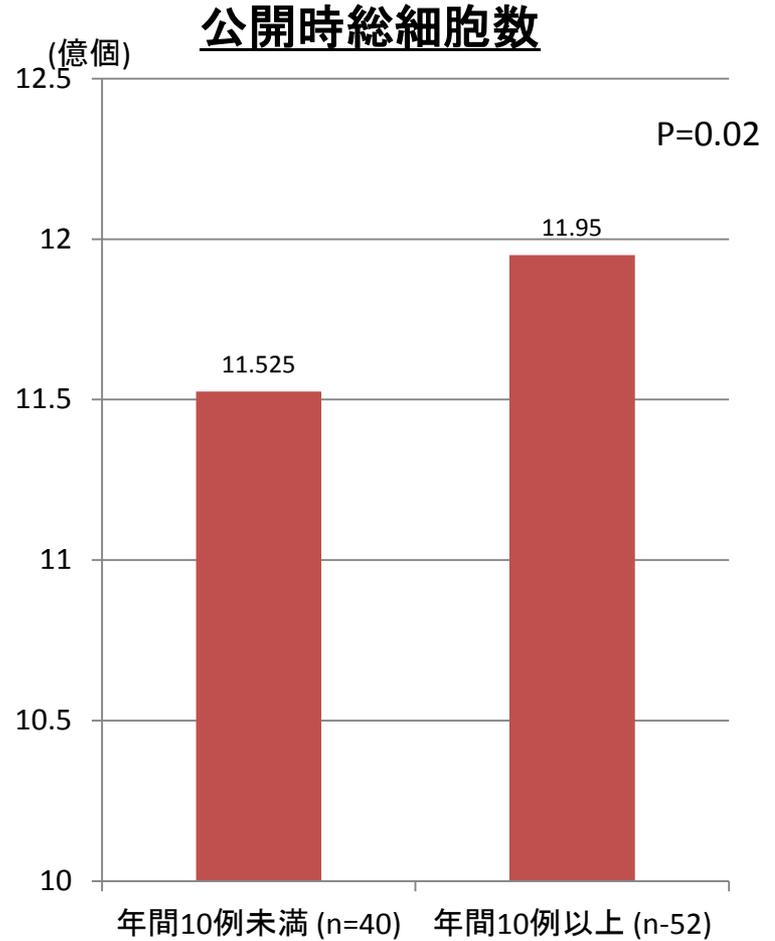
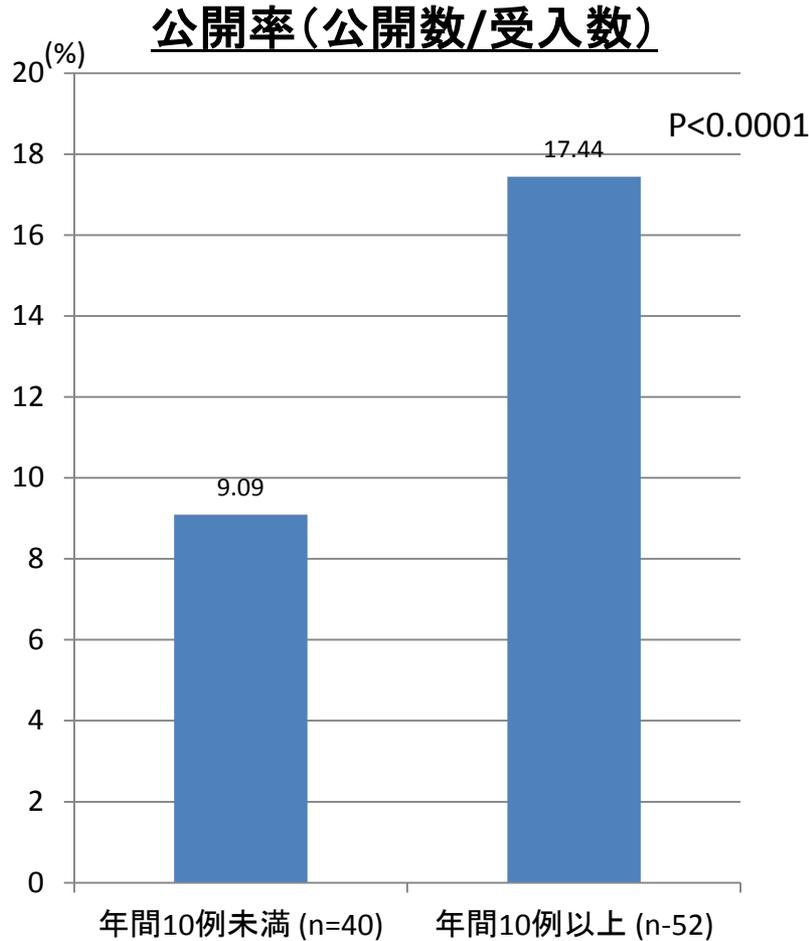
## (億個) 総細胞数の推移



- ※ 数値は中央値
- ※ 受入数は受入処理を行ったもの
- ※ 2011年1月～12月に受入処理を行ったもの
- ※ 公開待ちの臍帯血が892個ある
- ※ 各さい帯血バンクへのアンケートより臓器移植対策室にて作成

# 年間受入数採取病院による公開率と公開時総細胞数の違い ～年間受入数10例未満と10例以上の採取病院の比較～

採取数(バンクの受入数)の多い採取病院からの臍帯血の方が、公開率が高く、公開時総細胞数も多い傾向がある。



- ※ 数値は中央値
- ※ P値はMann-Whitney解析による
- ※ 受入数は受入処理を行ったもの
- ※ 2011年1月～12月に受入処理を行ったもの
- ※ 公開待ちの臍帯血が892個ある
- ※ 各さい帯血バンクへのアンケートより臓器移植対策室にて作成

# さい帯血バンクごとの受入基準の違い

バンクによっては受入時に一定の基準を満たしたものを受入数処理している。

バンク	受入基準
A	すべて
B	60mL以上または有核細胞数 $11.4 \times 10^8$ 以上
C	60mL以上(実際には重量換算)
D	すべて
E	すべて
F	すべて
G	すべて
H	すべて

# さい帯血バンクごとの調製開始基準の違い

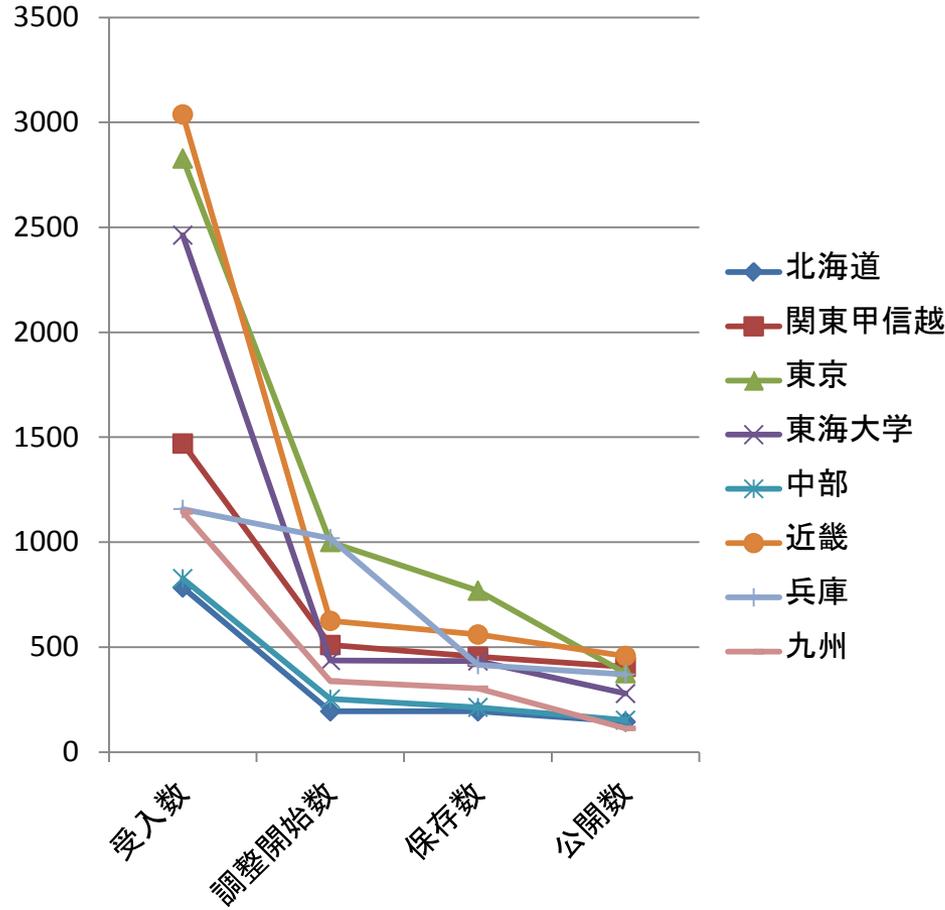
バンクによっては調製開始基準は異なっている。

バンク	調製開始基準
A	さい帯血バンクネットワークの基準に合致したもの
B	有核細胞数 $11.4 \times 10^8$ 以上
C	有核細胞数： $12.0 \times 10^8$ 以上、CD34+細胞数： $3.0 \times 10^6$ 以上
D	有核細胞数： $12.0 \times 10^8$ 以上、重量110g以上
E	有核細胞数 $11.4 \times 10^8$ 以上
F	有核細胞数 $11 \times 10^8$ 以上
G	有核細胞数： $12.0 \times 10^8$ 以上、CD34+細胞数： $3.0 \times 10^6$ 以上、重量95g
H	有核細胞数 $15 \times 10^8$ 個以上； $11 \sim 15 \times 10^8$ 、CD34陽性細胞数 $3 \times 10^6$ 以上

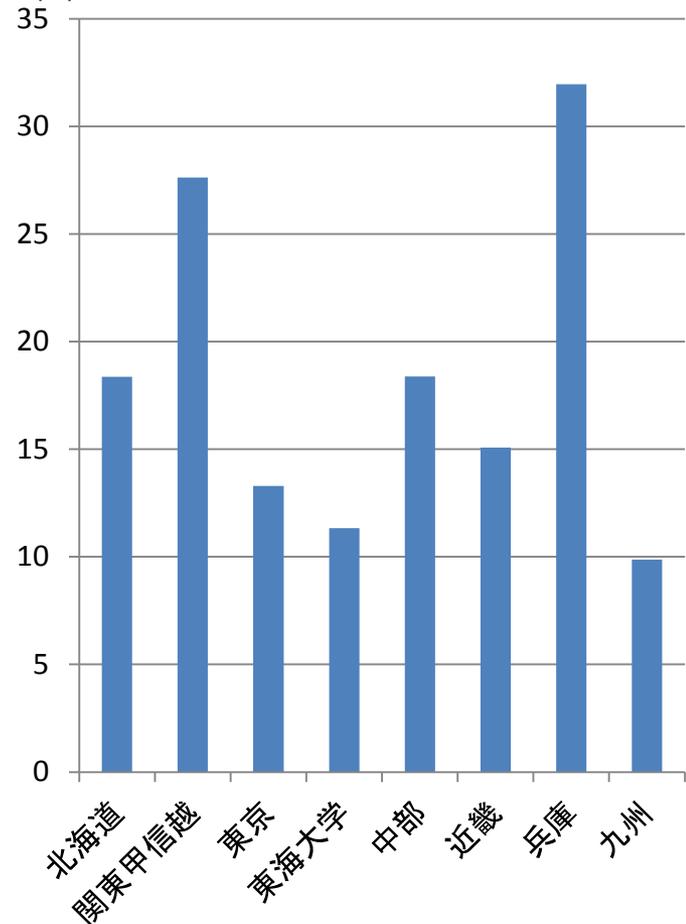
# さい帯血バンクによる受入から公開に至る臍帯血数の違い

現状では、さい帯血バンクによって受入から公開に至るまでの割合にばらつきがある。

(個) 受入から公開までの臍帯血数の推移



(%) 公開率(公開数/受入数)

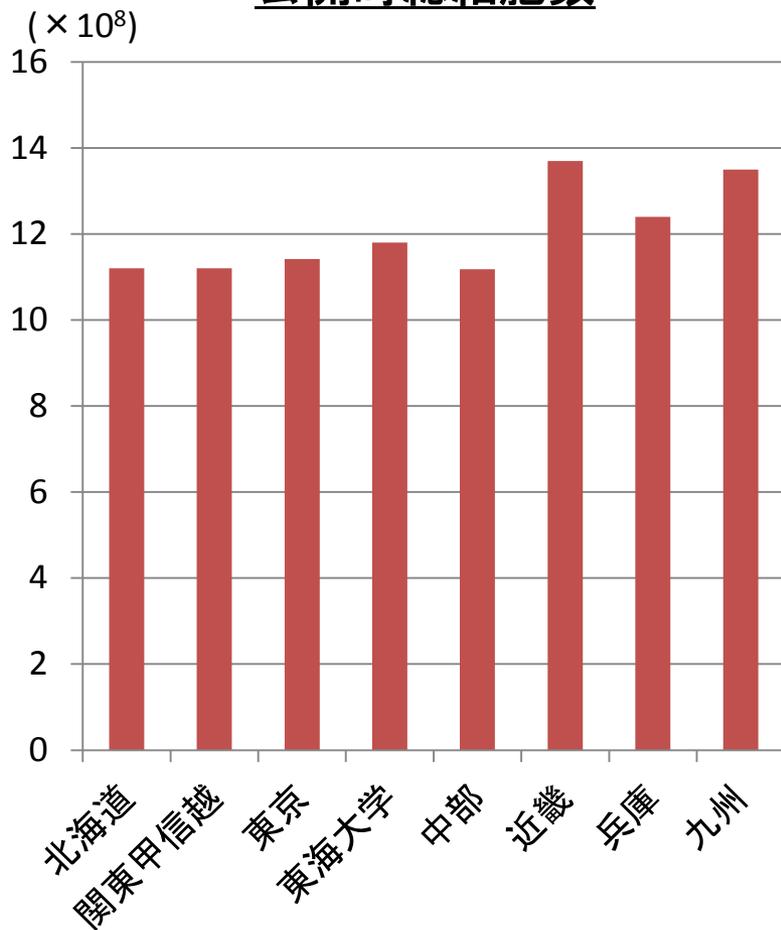


- ※ 受入数は受入処理を行ったもの
- ※ 2011年1月～12月に受入処理を行ったもの
- ※ 公開待ちの臍帯血が総数で892個ある
- ※ 受入処理の基準がバンクによって異なるため、単純な比較は困難である
- ※ 各さい帯血バンクへのアンケートより臓器移植対策室にて作成

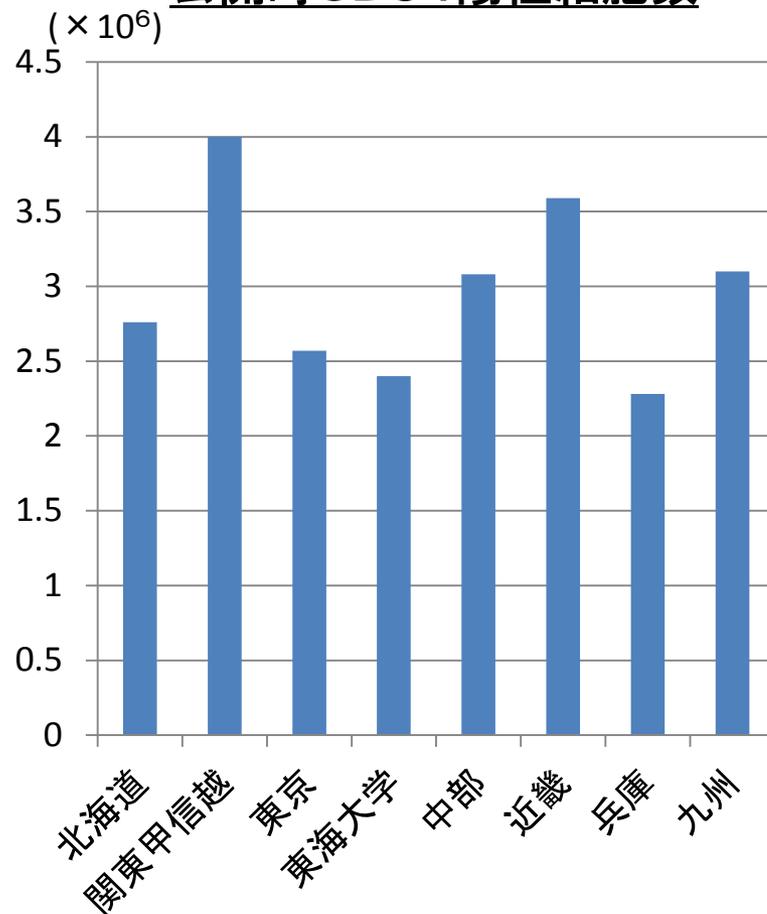
# さい帯血バンクごとの公開時細胞数の違い(中央値)

公開時細胞数は一定の基準を満たしている。CD34陽性細胞数はバラツキがみられている。

## 公開時総細胞数



## 公開時CD34陽性細胞数



- ※ 数値は中央値
- ※ 2011年1月～12月に受入処理を行ったもの
- ※ 公開待ちの臍帯血が892個ある
- ※ 各さい帯血バンクへのアンケートより臓器移植対策室にて作成

# さい帯血バンクの状況

実際移植に用いられている数はバンクによって差がある。

バンク名	実施主体	採取病院	公開数	移植数	
				平成23年度	累計
日本赤十字社北海道さい帯血バンク (旧北海道さい帯血バンク)	日本赤十字社北海道ブロック血液センター	7	3,201	69	949
日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク (旧東京都赤十字血液センターさい帯血バンク)	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	24 (うち宮城6施設)	4,887	232	1,628
東京臍帯血バンク	財団法人献血供給事業団	13	6,960	175	1,473
東海大学さい帯血バンク	東海大学医学部	11	4,345	94	1,114
中部さい帯血バンク (旧東海臍帯血バンク)	一般社団法人中部さい帯血バンク	6	3,241	50	594
日本赤十字社近畿さい帯血バンク (旧京阪さい帯血バンク)	日本赤十字社近畿ブロック血液センター	15	2,192	302	1,564
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	16	3,694	130	1,231
日本赤十字社九州さい帯血バンク (旧福岡県赤十字血液センターさい帯血バンク)	日本赤十字社九州ブロック血液センター	9	2,839	54	685
合計		101	30,030	1,100	8,146

※採取病院、公開数、累計は平成24年11月末時点の数値。(日本さい帯血バンクネットワークのデータより作成)

※平成24年4月より、宮城さい帯血バンクは北海道及び関東甲信越日赤バンクへ、中国四国さい帯血バンクは日赤九州バンクへそれぞれ事業移管。  
公開数や移植数は、移管先の数字に含まれている。

# さい帯血バンクごとの検査方法の違い

バンクによってHLA、感染症の検査方法は異なっている。

バンク	HLA検査法 (resolution)	HLA検査項目	NAT自施設	NAT他施設
A	ClassI (mid-high), ClassII (high)	HLA-A,-B,-C,-DRB1	未施行	CMV, Parvo B19 (PCR)
B	DNA mid-high	HLA-A,-B,-C,-DRB1	HBV,HCV,HIV-1	CMV
C	DNA mid-high	HLA-A,-B,-C,-DRB1	未施行	未施行
D	DNA mid	HLA-A,-B,-C,-DRB1	未施行	未施行
E	DNA mid-high	HLA-A,-B,-C,-DRB1	HBV,HCV,HIV,CMV	Parvo B19
F	Luminex法	HLA-A,-B,-C,-DR,-DRB1	未施行	未施行
G	DNA-high	HLA-A,-B,-C,-DRB1	未施行	未施行
H	DNA mid-high	HLA-A,-B,-C,-DRB1	HBV,HCV,HIV	

# さい帯血バンクごとの凍結方法の違い

バンクによって臍帯血の凍結方法は異なっている。

バンク	プログラムフリーザー 使用有無	プログラムフリーザー 使用率	簡易法(−80℃静置法)となる場合
A	有り	100%	
B	有り	80%	複数同時の場合
C	有り	100%	
D	有り	100%	
E	有り	95%	調製終了が他の臍帯血とずれた場合
F	無し	0%	すべて
G	有り	100%	
H	有り	70%	夕刻調製分